

法		
景観法	・基本理念（第二条） 良好な景観は、美しく風格のある国土の形成と潤いのある豊かな生活環境の創造に不可欠なものであることにかんがみ、国民共通の資産として、現在及び将来の国民がその恵沢を享受できるよう、その整備及び保全が図られなければならない。	
上位計画等		
上位計画（計画）	【目指すべき都市像】 1.北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち 2.互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち （まちづくりの基本目標抜粋） ・市民一人一人が魅力を再認識し発信するまちにします ・公共交通を中心とした集約型のまちにします ・札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心にします ・都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします （都市空間創造の基本目標） ・持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める	関連計画（都市マース）
都市づくりの理念 S・M・I・L・Es City Sapporo S・・・Sustainability（持続可能性） M・・・Managing（エネルギーやモビリティなど多様なマネジメント） I・・・Innovation（創造性の発揮） L・・・Livable（安心・快適で質の高い生活） Es・・・Everyone（誰もが）、Environment（環境）など ※現在計画見直し中		

今後重視すべき視点	
・地域特性を生かす ・景観資源を幅広くとらえ、保全・活用する ・札幌の景観特性を生かす ・多様な主体が持続的に取組を行う ・市民・事業者・行政が役割を担う	創造 保全 みんなで 取り組む

現行の基本理念・目標・基本指針

基本理念 透明感と輝きをもった美しい北の都市をつくりあげる
・札幌は、さわやかな透き通った夏の空気や、しんと静まりかえった一面の雪景色など、透明という言葉が似合う街です。これからの景観形成は、透明感を大切に、輝く未来に向かって美しい北の都市をつくりあげていくことを基本理念とします。 （基本理念解説文）

課題等	
・現行の目標と基本姿勢の内容が重複している ・（届出）より魅力的な街並み形成につなげる必要がある ・（届出）公共は景観形成に対する先導性を向上させる必要がある ・（重建）現行の制度のみでは景観重要建造物等の滅失を防ぐことは難しい ・（景観まちづくり）地域ごとの景観まちづくりの取組を広げていくことが必要 ・（普及）多くの市民・事業者へと取組が広がっていない ・（普及）取組の持続性や発展性が確保されていない	

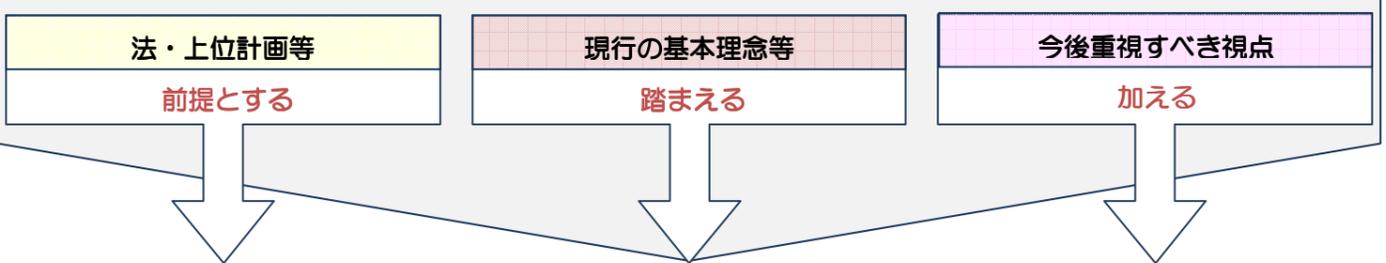
審議会の意見【要点】	
・理念は市民に理解されやすい言葉か ・創造だけでなく保全の観点も重要 ・（届出）より良いものへ誘導すべき ・（届出）公共施設等は法に基づく通知に加え別の方法による景観的アプローチが必要 ・（重建）景観形成の方向性を示すには、景観形成の過程を把握する必要がある ・（景観まちづくり）地域特性を生むような地域単位の景観形成が求められている ・（普及）市民・事業者・行政による主体的な取組を促し、継続する仕組みが必要 ・（普及）行政と市民・事業者の役割を明確にする必要がある	

市民意見【要点】	
【市民アンケート】 ・魅力は「山並み」と「基盤の目の街並み」 ・景観的魅力がさらに高まるとよいという意見が多い 【子供アンケート】 ・都心や身近な自然に魅力を感じるという意見多い 【市民ワークショップ】 札幌らしさとは何か ・四季が明瞭 ・基盤の目の街並み ・人の気質が濃厚 ・大都市でありながら自然が豊か	

目標 ・環境と風土を生かす（1,工） ・四季の移ろいを生かす（1,ア） ・歴史から学び未来に育てる（1,イ） ・すべての人にやさしい視点をもつ（3,カ） ・みんなの力で積み重ねる（3,オ）
--

基本指針 ・街路都市から街並み都市へ（1,2,ウ） ・地形を生かす（1,ア、イ、エ） ・自然と調和するまちづくり（1,ア） ・緑を守り、育てる（1,ア） ・潤いある水辺を演出する（1,ア） ・快適な道路空間をつくる（1,カ） ・魅力ある拠点をつくる（2,ウ） ・時を演出する（2,エ） ・ヒューマンスケールのまちづくり（3,オ,カ） ・防災に配慮したまちづくり（1,ア）
--

○これからの景観施策の方向性
 都市の成熟期において、都市景観を構成する要素を幅広くとらえて保全・活用することにより、能動的・創造的に、都市の魅力・活力を向上させる



見直し後の理念・目標・基本姿勢（案）

理念（案） 北の自然・都市・人が輝きを織りなす美しい札幌の景観を創り上げる
・「北の自然・都市・人」 ・札幌の景観を構成する要素を幅広くとらえる（「自然」と「都市」に加え、「人」の活動も重要な要素ととらえる）（保全・創造） ・「輝きを織りなす」 ・自然・都市・人が地域の個性を生かしながら調和し、多様な魅力を放つ（創造・みんなで行く） ・「創り上げる」 ・多様な主体が関わり合い、能動的・創造的に都市の魅力・活力を向上させる（創造・みんなで行く）

目標	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">今後重視すべき視点</td> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">目標（案）</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">保全</td> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">1.札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">創造</td> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">2.地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">みんなで行く</td> <td style="background-color: #004a7c; color: white;">3.多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり</td> </tr> </table>	今後重視すべき視点	目標（案）	保全	1.札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり	創造	2.地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり	みんなで行く	3.多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり
今後重視すべき視点	目標（案）								
保全	1.札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり								
創造	2.地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり								
みんなで行く	3.多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり								

基本姿勢（案） （現行の基本指針の内容が目標を実現させるための取組を進める上での基本的な姿勢を示しているため見直し後の計画では「基本姿勢」として整理）
ア. 自然を守り、生かす イ. 歴史を踏まえ、受け継ぐ ウ. 札幌の「顔」を創り、磨く 工. 地域の個性を見だし、伸ばす オ. みんなが取り組み、広げる カ. 市は率先し、支える

届出制度 ・景観上優れたものへの誘導方策の充実 ・届出の対象や協議ツールの見直し	景観重要建造物等 ・景観資源の指定等に関する体系の再整理 ・景観重要建造物等の活用を通じた保全への支援 ・多様な主体による景観資源の共有	景観まちづくり ・地域ごとの景観まちづくりの推進 ・地域ごとの景観まちづくりを支える仕組みの確立	普及啓発 ・景観に関する教育と体験の機会の提供 ・効果的かつ多様な情報発信 ・市民・事業者等の自発的活動を促進する施策の充実
---	--	---	--